



★★★★★☆☆☆☆ ~いじめと戦おう~ ☆★★★★☆☆☆☆

平成 25 年 6 月 26 日(水) 2 学年道徳

今回は、2 学年全員で道徳の授業を行いました。
まず始めに、「いじめと戦おう~もしもあの時に戻れたら~」という DVD を見ました。この DVD は、行動をからかったり、荷物を持たせたり、ジュースを買わせたり、ゴミの中に隠れさせたり…といったいじめを受けた男の子が、苦しみ、自殺をしてしまうお話です。同じクラスで、その様子を見ていることしかできなかった男の子が、自分には何が出来たのか・どうすれば、クラスメートの命を守ることが出来たのかを、お姉さんのアドバイスをもとに、時を戻して考え、行動していきます。それは、

① いじめている人たちに、それは「いじめ」だということを気付かせること。シャレにならない・それは、おかしいんだと感じさせること。

② いじめられている人の印象を変えるために、アドバイス（挨拶を自らしたり、何事にも誠実・真面目に取り組むことなど）をして、より良い人間関係や印象を作ること。

③ 傍観者となってしまった仲間たちが、いじめを受けている人に積極的に関わったり、いじめられている人を守るため連携を図り、いじめている人たちとの距離を置くようにすること。…などです。

いじめられている人を守る方法・いじめている人に、事の重みに気付かせるなど、いじめとの戦い方を学ぶことができる DVD でした。

DVD 視聴後、教室に戻り、

- ① 自分も出来たらいいなと思うこと
- ② いじめが起きたときに、自分がすること

この 2 点について、考えました。生徒は、とても真剣に、自分の思いや考えを記入していました。右のページにその内容をまとめました。

1 学年、3 学年も同じ DVD を視聴し、道徳の授業を行いました。

DVD 視聴にあたっての学年主任の話



クラスで、ワークシートに記入最後に担任からの説話がありました。

~DVD を見て、自分も出来たらいいなと思ったこと~

- ・周りの気持ちから変えること。
- ・いじめられている人に、優しく声をかけること。
- ・積極的に話しかけてあげる。
- ・協力して、いじめられている人の悪いイメージを変える。
- ・「おはよう」「ありがとう」というような当たり前の言葉を、掛け合うようにする。
- ・いじめられている人の相談に乗る。
- ・ちょっとした、からかいも絶対に笑わない。
- ・周りで変わる。周りを変える。
- ・話が出来なくても、挨拶を交わしたり、少しの言葉のやりとりからできるようにする。
- ・いじめの現場では、面白がらないで、場の空気を変える。それが、悪いことだと当たり前の感覚を無くさない。
- ・周りの雰囲気を変える。
- ・からかいを面白いことのように、勘違いしない。面白がらない。笑わない。
- ・いじめている人に、直接は言えなくても、周りの雰囲気、それはいじめで悪いことだと感じさせる。
- ・声をかけて、いじめられている子を元気づけたい。挨拶を増やしたい。
- ・いじめている人が、おかしいという感覚をしっかりと持つこと。
- ・見て見ぬふりではなく、何も言えなくても、見てそれはダメという空気を作る。
- ・いじめている人に、「自分たちがしていることは、間違っている」と思わせる環境を作る。
- ・いじめられている子のイメージを周りが変えてあげる。

~もしも、いじめが起きたとき、自分がすること~

- ・いじめている人を止める。
- ・周りの人に声をかけて、気持ちを変える。
- ・自分がいじめられたら、先生や親・大人に相談する。
- ・周りのみんなでいじめを無くす。
- ・いじめている人の仲間には、絶対にならない。
- ・「やめなよ」と、いじめている人たちに、冷静に考えさせる。
- ・自分の意志を強く持つ。絶対に流されない。
- ・今日学んだことを参考に、いじめられている人にアドバイスをする。
- ・からかいに便乗したり、面白がらない。
- ・場の雰囲気に乗らない。
- ・自分がいじめられたら、態度や行動を変えて、前の自分よりも良い自分になれるように頑張る。
- ・いじめられている人に声をかける。
- ・話し相手になって、いじめられている人を守ってあげる。そんな仲間を一人ずつ増やしていく。
- ・いじめている人と一緒にならない。
- ・見てだけの傍観者にならない。ダメと言えるようになりたいけど、出来なければ、そのいじめを冷やかな雰囲気にして、いじめている人に間接的に分からせたい。
- ・「やりすぎだよ。」「度が過ぎているよ。」と、言う。
- ・DVD にあったような、いじめられている子を救えるような言動をする。
- ・正しさを分かっている仲間を作り、その中に、いじめられている仲間を入れて守ってあげる。
- ・いじめている子の仲間には、絶対にならない。
- ・からかいを、絶対に笑わない。いじめのからかいに笑って賛同しない。